



一般社団法人
うるわしの桜井をつくる会
〒633-0091 奈良県桜井市
桜井1259エルトさくら内
TEL&FAX:0744-47-3981
URL: <http://lets.some.jp>
E-mail: lets@some.jp

平成25年6月

うるわし通信

都会派も自然派も梅雨にめげずに

桜井は日本の歴史に直接に影響を与える広い視野を持つ文学、考古学の発信地であり、ここから多角的・多面的な文化を現在も生み出しています。このことは全国的にも認知されていることと思いますが、地形的にみましても、山あり、谷あり、田畑ありでそれが現在も受け継がれて緑を保ち、それが観光客を喜ばせることにもなっています。

しかし、一方ではJRの3駅と近鉄の4駅を持つ近代都市でもあり、ここでは快適な近代生活を希求する市民が生活しています。

古代からの自然遺産と近代生活と、しかも、それが市の全地域にわたっていますので、行政も手が行き届かないのでしょうか、至るところに隙間が空いています。

ところでこの隙間を埋める市民活動も活発です。以前、大福や朝倉台の地域ぐるみの活動を報告しましたが、桜井駅南の本町通り商店街もまだまだパワーを潜在させています。

去年の7月7日の『七夕まつり』の人出は2000人といわれています。道の両側に各種の出店があり、人のひしめきに、食べ物の匂いや、子どものはしゃぐ声が重なり合って、本当に一時は身動きもままならない雑踏が続き、たまたま大阪の人と一緒にしたが「桜井は元気やなア」と驚いていました。

訊いてみると、始めは本町通り一丁目だけの運動でしたが、二丁目に拡がり、その相乗効果で人出が増えたようです。出店者は地域や資本の大小を問わないとのことで、よそ者排除の地域エゴの観念はゼロで、わたしは商売や商店の原点を教わった気がしました。

そういうわけで、『七夕まつり』には少し早いのですが、本紙は毎月10日発行なので、7月では終わってからになります。桜井では滅多にみられない活況を眼で確かめて頂きたいと思うのです。



本町通り七夕まつり

7月6日は本町商店街の『七夕まつり』

本町通り商店街『七夕まつり』の主催者、七夕まつり実行委員長の島岡宣輝氏は地元商進会の会長として今年2年目の運営です。年齢は40才といいます。思わず若さに期待して対談ははずみ
インタビューアー 浅川肇

浅川 いつから、誰が始められたのですか。その動機は？

島岡 40年ほど前にあった夜店の賑わいをとり戻したいと、吉田酒店さんが11年前から始められました。わたしは当時サラリーマンでしたが、休日に頑張りました。子どもが500円持って行って何も買えない現状を変えたい、もう少し手造りで安くしたいとの思いがあります。他の団体の活動資金の稼ぎ場に利用して下さい、ともいっていますよ。

浅川 昨年はとても人出が多かったが特別な工夫をされましたか？

島岡 二丁目と来迎寺さんが加わったのでスペースは3倍になりました。特に来迎寺の中のイベントが興味を呼びました。小学生は、「こんなところに大きなお寺があるんや」と地元を再認識したようです。

浅川 誰でも出店できるということですが、申込みや場所代などは？

島岡 社会的な貢献をしている団体ならばOKです。申込みは毎年5月末に〆切ります。場所代は頂きません、売上金はすべて出店者のものです。出店者が増えれば出店者の人脈でネットワークは更に広がって相乗効果が出て、活況を呈してします。

浅川 今年の話は？

島岡 市の保険医療課がPRの場に利用したいと来られました、人出に注目されたのでしょう。

浅川 今年が目玉は？

島岡 『読未知(よみち)』の絵本の読み聞かせとプラスバンドとのコラボレーションコンサートです、期待して下さい。今年は7月6日(土)の1時から8時です、皆さんお越し下さい。



あてもの店



来迎寺

芝さん 今年もホタル祭りが近づきました！

NPO法人山野草の里づくりの会 福岡 定晃

先日、うるわし通信で「追悼 芝房治さん逝く」の特集を拝見しました。私にとりまして芝房治さんは、大きな存在でした。

私は、桜井市職員でしたので市議会議員の芝さんは知っていたのですが、話した事はありませんでした。ちょうど、人事異動で私が「まほろばセンター」の館長になり、エルト桜井の役員でありました芝さんが「まほろばセンター」の事務所へ休憩がてらか足を運んでくださるようになり、いろいろ話を聞かせていただきました。その中で、取り組んでおられた「古代大和を考える会」に私もその一員に加えていただきました。当時「古代大和」という機関誌を発行されていて、私は論文ではなく、「古代ロマンの散歩道」として桜井市内の地域の歴史的案内を掲載しました。

「古代大和を考える会」解散後はあまりお会いする機会がなかったのですが、私が退職後に「山野草の里づくりの会」を設立して活動していることをお知りになったのでしょうか、「会員になる」と言って会費を下さいました。住民も減り管理放棄が進んだ地で美しい里山の復活を目指す取り組みは、芝さんの思いに共通したところがあったのでしょうか。芝さんからは高い評価を受け、励みになっていました。芝さんには監事をお願いしておりましたが、残念なことに現役で世を去られてしまいました。芝さんの意志にもお応えできるよう今後も頑張りたいと思います。



「環境省の自然環境局長賞」の受賞祝賀会で乾杯の音頭を取る芝さん

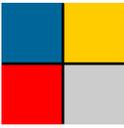
第46回花の宴 ほたるの夕べ

今年も「蛍の夕べ」を開催します。蛍の探索はもちろん、里山の探索も行います。また、竹で灯籠を作り、蛍の探索路に立て、ろうそくに点火します。みなさんのお越しお待ちしております。

日時 6月29日(土)15時～21時(雨天翌日順延)
場所 桜井市三谷「山野草の里」
参加費 大人¥500 子供¥300
(軽食費及び傷害保険料)
軽食を希望されない方は保険料のみ¥100
交通 桜井駅北口より小型バスを運行します
往路 14:20 桜井駅北口発
復路 21:10 三谷神社前発
運行協力金 一人¥500 小学生以下無料
バス・食事の予約は6月25日(火)締切です
問合せ TEL 0744-48-8105(福岡)



蛍の探索を楽しむ子どもたち



事務局だより

- 6月の常任理事会は6月16日(日)午後1時30分より「市民活動交流拠点」(まほろばセンター第1研修室)で行います。
- 定時総会は6月23日(日)午後1時より「纏向小学校体育館」で行います。

うるわしの桜井をつくる会公開講演会

日時 6月23日(日)午後2時開会
 場所 桜井市立纏向小学校体育館
 演題 「卑弥呼の時代」
 講師 寺澤 薫氏 纏向学研究センター所長
 参加無料
 講演の後、纏向遺跡現地見学会予定
 会員以外の方の参加もお待ちしております



纏向遺跡のイメージ図(寺澤 薫氏画)

差別をなくす市民集会

日時 7月6日(土)午後1時30分開会
 場所 桜井市民会館
 演題 「ちゃんへん・夢をあきらめない」
 講師 ちゃんへん氏
 世界60ヶ国以上で活動する最高峰の神技的パフォーマー・在日三世。
 2002年の「大道芸ワールドカップin静岡」で、最年少で1位を獲得しプロデビューを果たす。北野 武、マイケル・ジャクソンなど各界の著名人の前でパフォーマンスを行い、幅広い世代に絶賛されている。
 問合せ TEL 0744-42-9111(桜井市人権施策課)



編集後記 俳句といえば自然派と思われていますが、芭蕉に「まち中は物のおいや夏の月」があり、現代歌は都会派と思われがちですが、詩人多田智満子の『蛍』に「冥くなったわたしのまわりで/蛍が浮いたり沈んだりする/ひかりのうるんだあの蛍は/もしかするとお母さんですか」がある。自然派と都会派と互いに越境し合って文化は造られ、保たれているのだとしみじみ思う。

(あさ)

うるわし通信編集責任者
 〒633-0091
 桜井市桜井142-5-203
 浅川 肇
 TEL090-1961-6345